

日本糖尿病・肥満動物学会 学会賞各賞受賞者一覧

●後藤賞

回数	年	受賞者名	受賞演題
1	平成20年	後藤 由夫(東北大学名誉教授)	我が国の糖尿病動物研究の推進とGKラットの開発
2	平成21年	金澤 康徳(日本糖尿病財団理事長)	SDTラットの開発とその特性の同定および糖尿病細小血管合併症の分析
3	平成22年	清野 裕(関西電力病院院長)	糖尿病モデル動物を用いたインスリン分泌機構の解明
4	平成23年	井上 修二(桐生大学副学長兼医療保健学部長)	視床下部腹内側核(VMH)破壊ラットの病態の研究—腹部臓器細胞増殖の再生医療への応用をめざして
5	平成24年	池田 義雄(榊タニタ体重科学研究所所長)	モデル動物による糖尿病、肥満、メタボリックシンドロームの実証的研究
6	平成25年	柴田 昌雄(生寿会かわな病院顧問)	NSYマウスの開発および糖尿病腎症の成因・治療に関する研究
7	平成26年	堀田 饒(中部ろうさい病院名誉院長)	糖尿病性合併症の発症メカニズムの解明と治療法の確立
8	平成27年	島 健二(川島病院名誉院長)	Obesity and NIDDM—lessons from the OLETF rat
9	平成28年	八木橋 操六(弘前大学大学院医学研究科特任教授、額田医学生物学研究所所長)	糖尿病動物を用いた神経障害・膵病変の総括的研究
10	平成29年	南條 輝志男(和歌山ろうさい病院病院長)	糖尿病および合併症の病態解明と予防・治療法の開発

●学会賞「米田賞」

回数	年	受賞者名	受賞演題
1	平成20年	門脇 孝(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科教授)	遺伝子改変動物を用いた糖尿病分子機構の解明
2	平成21年	八木橋 操六(弘前大学大学院医学研究科分子病態病理学講座教授)	糖尿病神経障害の成因解明と新規治療法の開発
3	平成22年	佐藤 謙(岩手医科大学内科学講座糖尿病代謝内科分野教授)	サイトカイン制御による1型・2型糖尿病および糖尿病合併症の治療の研究
4	平成23年	池上 博司(近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科主任教授)	自然発症モデル動物を用いた糖尿病の遺伝解析
5	平成24年	中村 二郎(愛知医科大学医学部内科学講座糖尿病内科教授)	糖尿病性神経障害の発症メカニズムと治療に関する研究
6	平成25年	森 豊(東京慈恵会医科大学附属柏病院糖尿病・代謝・内分泌内科准教授)	モデル動物による糖尿病、肥満の実証的研究
7	平成26年	塩田 清二(昭和大学医学部第一解剖学教室主任教授)	脳による摂食・エネルギー代謝調節
8	平成27年	稲垣 暢也(京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学教授)	モデル動物を用いたインクレチンおよびインスリン分泌に関する研究
9	平成28年	中里 雅光(宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野教授)	摂食とエネルギー代謝調節に作動するペプチドの探索と機能解析に関する研究
10	平成29年	粟田 卓也(国際医療福祉大学病院糖尿病内分泌代謝科、教授・部長)	糖尿病関連遺伝子の研究、特に1型糖尿病の疾患感受性遺伝子

●研究賞

回数	年	受賞者名	受賞演題
1	平成20年	山田 祐一郎(秋田大学医学部内科学講座内分泌・代謝・老年医学分野教授)	糖尿病・肥満動物での消化管因子の役割
2	平成21年	藤澤 智巳(大阪大学大学院医学系研究科老年・腎臓内科学講座助教)	モデル動物を用いた糖尿病の病態と遺伝解析
3	平成22年	植木 浩二郎(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科准教授)	遺伝子改変マウスを用いたインスリン作用とその破綻の分子機構の解明
4	平成23年	小川 佳宏(東京医科歯科大学難治疾患研究所分子代謝学分野教授)	糖尿病・肥満における慢性炎症の分子機構に関する研究
5	平成24年	寺内 康夫(横浜市立大学大学院医学系研究科分子内分泌・糖尿病内科学教授)	遺伝子改変動物の作製・解析による糖尿病の病態解明と治療法開発
6	平成25年	綿田 裕孝 会員(順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学教授)	モデル動物を用いた膵β細胞分化、増殖、細胞死の制御機構の解明
7	平成26年	山内 敏正(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科講師)	肥満・糖尿病モデルマウスを用いたアディポネクチンとその受容体の健康長寿における意義の解明と治療法開発への応用
8	平成27年	窪田 直人(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科講師)	発生工学的手法を用いた2型糖尿病・肥満の分子機構の解明
9	平成28年	水上 浩哉(弘前大学大学院医学研究科分子病態病理学講座教授)	2型糖尿病における膵β細胞容積減少機構の解明
10	平成29年	松本 道宏 正会員(国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター分子代謝制御研究部、部長)	遺伝子改変マウスを用いた肝臓における代謝調節とその障害の分子機構の解明

●若手研究奨励賞

回数	年	受賞者名	受賞演題
1	平成20年	影山 晴秋 (昭和大学医学部第1解剖学教室助教)	ガラニン様ペプチドは内因性の発熱物質である
		窪田 直人 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科助教)	肝臓特異的Irs2欠損マウスはインスリン抵抗性、耐糖能異常を呈する
		中村 昭伸 (横浜市立大学大学院医学研究科分子内分泌・糖尿病内科学)	グルコキナーゼ活性化薬が糖代謝と膵β細胞量に及ぼす影響
		西野 尚延 (神戸大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝・内分泌内科学分野)	脂肪滴蛋白FSP27は白色脂肪細胞に単房性の脂肪蓄積形成を誘導することで効率的な中性脂肪の貯蔵を可能にする
		西村 智 (東京大学循環器内科)	生体内分子イメージング手法による肥満細胞組織リモデリングと機能異常の解明
2	平成21年	岩部 真人 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	Muscle-specific AdipoR欠損マウスを用いた骨格筋におけるアディポネクチン経路の生理的意義の解明
		窪田 哲也 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	血管内皮細胞におけるインスリン受容体基質(IRS)2の役割の解明
		佐藤 千景 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科学助教)	高脂肪食負荷PSGL-1 KO マウスの内臓脂肪におけるマクロファージ浸潤とインスリン抵抗性の変化
		藤坂 志帆 (富山大学医学部第一内科)	脂肪組織M1/M2マクロファージとインスリン感受性の関連についての検討
		水上 浩哉 (弘前大学大学院医学研究科分子病態生理学講座助教)	脂肪織由来間葉系幹細胞の糖尿病ラット進行期神経障害への効果
3	平成22年	横井 伯英 (神戸大学大学院医学研究科細胞分子医学特務准教授)	1型糖尿病モデルKDPラットにおける修飾遺伝子座の同定
		岩部 美紀 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	アディポネクチン受容体の動脈硬化に対する作用とその生理的・病態生理的意義の解明
		笹子 敬洋 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科助教)	摂食に伴う肝臓での小胞体ストレス、及びその調節因子のインスリン感受性に及ぼす作用の検討
		新堂 修康 (大阪大学大学院医学系研究科老年腎臓内科)	非アルコール性脂肪肝炎の発症メカニズムの解明: 自然発症モデルを用いた検討
		高本 偉碩 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	膵臓β細胞のTcf712は膵β細胞量維持に重要な役割を果たしている
4	平成23年	御簾 博文 (金沢大学医薬保健研究域医学系恒常性制御学特任助教)	ヒトトランスクリプトームから同定したインスリン抵抗性誘導へパトカインセレノプロテインPの個体レベルでの機能解析
		粟澤 元晴 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	アディポネクチンによる抗糖尿病作用の新規メカニズム
		小林 正稔 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科助教)	Wilms'tumor 1-associating protein(WTAP)の肥満・糖代謝への関与の検討
		白川 純 (横浜市立大学大学院医学研究科分子内分泌・糖尿病内科)	グルコキナーゼ活性化薬によるAkitaマウスにおける小胞体ストレス誘導性アポトーシスの改善効果
		田蔭 基行 (順天堂大学医学部内科学・代謝内分泌学講座)	膵臓β細胞特異的ZnT8欠損マウスでは、膵からのインスリン分泌は亢進するが、末梢血中のインスリン濃度は低く、耐糖能が悪化する
5	平成24年	姫野 龍仁 (名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学)	Exendin-4の糖尿病性多発神経障害に対する治療効果の検討
		向 英里 (京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学)	Exendin-4はGKラット膵島においてEpac依存性にSrc活性を抑制することによりROS産生を減少させる
		浅原 俊一郎 (神戸大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝・内分泌内科)	2型糖尿病候補遺伝子Kcnq1遺伝子領域が膵β細胞に及ぼす影響の解析
		梅原 敏弘 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	骨格筋におけるAktの役割
		大川 哲司 (名古屋大学医学部糖尿病・内分泌内科)	マウスiPS細胞由来神経堤細胞移植の糖尿病性多発神経障害に対する治療効果の検討
6	平成25年	鈴木 亮 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	ステロールセンサー分子SCAPは糖尿病の脳で減少し認知機能に影響する
		清野 祐介 (名古屋大学医学部病態内科学講座糖尿病内分泌内科)	KATP channel欠損マウスを用いた各種栄養素経口摂取によるインスリン分泌の評価
		野村 和弘 (神戸大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝・内分泌内科)	PGC1α新規スプライシングバリエーションのエネルギー代謝制御における機能の検討
		赤澤 諭 (長崎大学大学院医歯学総合研究科第一内科)	Interferon regulatory factor-4(IRF-4)欠損NODマウスにおける糖尿病の完全抑制
		井上 真理子 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	中枢のIRS-2による肝臓のインスリン感受性調節
7	平成26年	乙田 敏城 (金沢大学医薬保健研究域医学系恒常性制御学)	肥満は肝プロテアソーム機能障害を介して小胞体ストレスとインスリン抵抗性を誘導する
		田中 都 (東京医科歯科大学糖尿病・内分泌・代謝内科)	肥満に関連する慢性炎症における新規病原体センサーの病態生理的意義
		藤田 義人 (京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学)	eNOS補酵素テトラヒドロピリテンによる糖代謝制御機構についての検討
		伊藤 美智子 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臓器代謝ネットワーク講座)	NASHの病勢を反映する病理組織マーカー: hepatic crown-like structureの意義
		神野 歩 (神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学)	2型糖尿病感受性遺伝子Gcn2は膵β細胞量の調節に関与する
8	平成27年	酒井 真志人 (国立国際医療研究センター 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究科)	ヒトシアセチル化酵素Gcn5による肝臓の糖新生調節機構の解明
		原 朱美 (順天堂大学大学院代謝内分泌内科学)	持続的高血糖は膵β細胞からPP細胞への分化転換を誘導する
		横田 繁史 (自然科学研究機構 生理学研究所 生殖・内分泌系発達機構研究部門)	骨格筋AMPK活性の抑制はストレプトゾトシンによる糖尿病の代謝異常を改善する
		青山 倫久 (東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科)	脂肪細胞における遠位エンハンサーを介したPPARγによるC/EBPα遺伝子の転写制御機構の解析
		渋谷 公尊 (京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学 /九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学)	脂肪酸結合タンパク5 (FABP5)はK細胞における脂肪誘導性GIP分泌の制御に関与する
9	平成28年	添田光太郎 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	NASH合併肝癌破傷におけるインスリン・血糖による制御機構の検討
		土屋 恭一郎 (東京医科歯科大学医学部附属病院糖尿病・内分泌・代謝内科)	肥満における細胞接着・接触による肝臓代謝制御機構と病態生理的意義
		八木 孝 (国立国際医療研究センター 研究所糖尿病研究センター分子代謝制御研究部 / 日本医科大学大学院生体機能制御学)	肝臓特異的な脂肪酸合成酵素の欠損はob/obマウスの脂肪肝と耐糖能を改善するが随時高血糖を惹起する
		高山 浩昭 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科包括的代謝学)	ヘパトカインセレノプロテインPiは骨格筋受容体LRP1を介して運動療法抵抗性を惹起する
		富樫 優 (横浜市立大学大学院医学研究科分子内分泌・糖尿病内科)	膵部分切除マウスによる新規膵β細胞増殖シグナルの探索
	平成28年	戸田郷太郎 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)	マクロファージはAktを介して腸内細菌叢に反応し代謝恒常性を維持する
		藤田 直尚 (京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学)	インジウム標識Exendinプローブを用いた膵β細胞量定量の試み
		三浦 正樹 (順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学)	Stat3シグナルの抑制は膵腺房細胞からβ細胞へのリプログラミングを亢進させる

10	平成29年	奥山 朋子(横浜市立大学大学院医学研究科分子内分泌・糖尿病内科学)	細胞外弾性線維関連蛋白Fibulin-5によるインスリン抵抗性・肥満惹起機構の解明
		小栗 靖生(京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科)	テトラヒドロビオプテリンによる褐色脂肪制御機構の解明
		小林 直樹(国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター 分子糖尿病医学研究部)	Activin/Fstl3による糖代謝制御機構
		鈴木 路可(順天堂大学大学院代謝内分泌内科学)	膵β細胞における時間特異的Atg7欠損マウスの作製と機能解析
		浜松 圭太(京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科)	¹¹¹ In-Exendin4 SPECTを用いたカナグリフロジンの膵β細胞保護効果の検討